

発行／広島県印刷工業組合 発行人／中本 俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



第5回常任・第6回拡大理事会開催

第2回 常設委員会合同開催

2024印刷産業夢メッセ第1回三役会議開催

// ポスター公募

地区協 令和6年度事業テーマ、組織・委員会機構

福山支部だより

厚生労働省よりお知らせ

第67回広島県印刷優勝野球大会 組合せ表

事務局だより

「早朝の広電宮島口駅と宮島口旅客ターミナル駐車場」

日の出と同時に写真を撮りに出かけた。2022年7月に現駅が新しく開業、その右側に6階建ての駐車場が今年の3月1日から開業を始め約300台が収容できるとのこと。宮島口棧橋が新しくなっているような建物が出来、観光客もコロナ前より多く感じる。

また、昨年10月から全国的にも珍しい「入島税(訪問税)」の徴収が始まった。一人1回100円、島民や島への通勤・通学者、未就学児、障がい者、修学旅行生は対象外になっている。

その税金は環境整備などに充て、住民生活に影響が出る観光公害にも対応し、持続可能な観光地づくりに備えるのが目的とのこと。

この写真では、朝早いため観光客はチラホラ、写真の右側がすぐ改札口、まずは、百聞は一見に如かずで、来てみんなさい。

「第5回常任理事会・第6回拡大理事会」開催

常任理事会が3月5日(火)13時00分より印刷会館に於いて、理事長、副理事長及び常任理事9名が出席し開催、その後14時00分より拡大理事会に役員12名が加わり21名で開催された。

初めに中本理事長から「今日は今年初めての拡大理事会ですが、総会に当たっての議案書の作成に取り掛かっていますのでご協力をお願いします。さて、元日に発生した令和6年能登半島地震に対して、全印工連から義援金の協力依頼がありました。そして、皆さまから多額の義援金が寄せられています。まだ受け付けておりますのでよろしくをお願いします。現在約100万円です。近々に送金する予定であります。また、今日は各委員会もありますのでよろしくをお願いします」と挨拶があり議題に入った。

【議題】

1. 中国地区印刷協議会について

各委員長から簡単に報告 午後3時より委員会に



て詳細に

2. 令和6・7年度組合役員改選(選挙公告)について
4月に入ったら全組合員へ送付
3. 令和6年度通常総会議案書(案)について
令和5年度事業報告(議案書に沿って説明)
4. 組合員異動のお知らせ
5. 令和6年度行事予定表(案)について
6. 2024印刷産業夢メッセスケジュール表について
7. 広島県職業能力開発協会からのお願いについて
宇都宮副理事長が検定員に
8. その他
 - ・総会後のメーカーベンダーさん宛の懇親会開催のお知らせ

第2回 常設委員会合同開催 各委員の仲間26名が集まり開催

令和5年度下期中国地区印刷協議会(2月16日広島ガーデンパレス開催)を受け、本年度第2回目の各委員会が3月5日(木)午後3時00分から、広島印刷会館会議室において開催された。

この委員会は、所属支部間を越えた組合員同志が、意見を交わし親睦を図り、交友を増やし信頼を増す場であり、この厳しい経済情勢の中どのようにして乗り切るか、また、お互いの業態変革は如何にしているかなど、相互啓発を目的としたもので、まさに組合の原点です。

各委員会の内容等は、4月号にて掲載済み、内容は同じなのでそちらを参考としてください。

経営革新マーケティング委員会



隅川 / 喜瀬 / 島田 / 小田 / 市川 / 児玉 / 丸林
高山 / 細川 / 木戸 / 小林

環境労務委員会



増田 / 濱崎 / 大東
大倉 / 中川 / 堀内 / 佐々木

組織共済委員会



田村 / 花田 / 前田 / 田尾 / 瀬尾
当田 / 青木 / 永田 / 林

教育研修委員会



中本 / 宇都宮 / 田頭 / 後藤

2024印刷産業夢メッセ第1回三役会議開催

2024印刷産業夢メッセ第1回三役会を3月5日(火)11時から広島印刷会館会議室に於いて、県工組、中国印刷機材協議会18名が出席し開催された。

中本実行委員長から「昨年の10月に夢メッセは全国大会と同時開催でしたが、今年は通常の広島ガーデンパレスでの開催になります。今日は、その開催に当たってのテーマの審査がありますのでよろしくお願ひします」と挨拶があり、会議に入った。

【議題】「2024印刷産業夢メッセ」

- (1) 開催内容等について
会場仮押さえのため10月18・19日に開催
- (2) テーマ選定について(審査で決定表題のとおり)
- (3) 開催告知ポスターの公募について
下記の公募のとおり
- (4) 基調講演講師選定について
1日目:全印工連会長(予定)
2日目:次回以降へ
- (5) 出展・広告依頼について 3月下旬に郵送
- (6) スケジュール(案)について
- (7) その他

第18回2024印刷産業夢メッセ 開催告知ポスターの公募

応募要項

1. 応募資格:広島県印刷工業組合員及び印刷関連団体並びに大学・専門学校に在籍の学生各位
2. 作品: A2サイズで原寸をプリントアウトしお送りください。なお、応募された作品は返却しません。入賞作品の著作権は組合に帰属するものとします。
3. 使用色:片面4色
(デザインにより1色や2色も可)
4. 記入必須項目(右の項目を参照)
5. 使用素材:自由
6. 応募作品:自作で未発表のオリジナル作品に限る
7. 応募方法:事務局宛に必要な事項を記入の上、郵送
記入事項は、①応募者氏名 ②社名・学校名
③連絡先 ④作品テーマ(制作意図)
⑤使用OS ⑥制作ソフト(バージョン記入)
⑦使用書体名
8. 応募締切り:2024年5月31日(金)“必着”
9. 賞:グランプリ 1点(商品券5万円)
準グランプリ 2点(商品券各2万円)
佳作 数点(商品券各3千円)

記入必須項目

- ①名称:第18回2024印刷産業夢メッセ
- ②会期:10月18日(金)、19日(土)
- ③テーマ:次代へつなげ! 印刷産業
- ④作品テーマ(制作意図)
- ⑤会場:広島ガーデンパレス
〒732-0052 広島市東区光町一丁目15-21
Tel.082-262-1122 Fax.082-262-5270
- ⑥主催:広島県印刷工業組合・中国印刷機材協議会
- ⑦主管:2024印刷産業夢メッセ実行委員会
- ⑧協賛:広島県洋紙商連合会、広島県製本工業組合、中国グラフィックコミュニケーションズ工業組合、日本グラフィックサービス工業会広島県支部、中国地区印刷協議会
- ⑨『夢』のロゴ:
注. ④の制作意図は、作成にあたっての思い、考え方を200字程度で記入のこと。
ロゴのデータは下記の組合にありますので、必要な方はメールで送付します。ご連絡は下記メールアドレスでお願いします。



注. 詳しくはこの「いんさつ広島」と一緒に別に応募要領を入れておりますのでお読みください。

お問い合わせ

広島県印刷工業組合内 広島市西区南観音一丁目1-22
TEL: 082-293-0906 FAX: 082-293-0954 Mail: h.inkumi@estate.ocn.ne.jp

アイデアをカタチに



www.meisei-prt.co.jp

明生印刷有限公司 〒730-0845 広島市中区舟入川口町18番19号
TEL.082-231-9778 FAX.082-291-3730



文具・事務機・企画印刷
株式会社 石井印刷所

東広島市西条岡町9-17
TEL 082-423-2173

【中国地区印刷協議会より】

令和6年度事業テーマ、組織・委員会機構

全日本印刷工業組合連合会 副会長 瀬田 章弘



次期委員会

・経営革新マーケティング委員会・教育研修委員会・サステナビリティCSR委員会・組織活性化委員会

次期は、具体的に何をやりたいのかというと、通常委員会は4つです。今まで委員会は、なんか本部がいろいろなことの情報を発信して、それを各委員会の委員長さんが聞いてお伝えするという、なんか無味乾燥な内容というの、いくつかはあったと思いますが、今後は攻撃的な委員会にしていきたい。出ていただいたら出ていただく価値がある。「出てきて情報をつかんで良かったなという委員会活動をしてくれ」と、次期委員長候補には言っています。

【経営革新マーケティング委員会】

新たな価値創出と生産性向上。先輩から、「中小の印刷業者は、どれだけ高く売れるかの勝負だよ。要するにプライシング、これを考えなさい。ただし現場はコストイング。いかに腰を低く作れるかを考えなさい。腰を低くして作れた物を安く売っちゃ駄目だよ」ということを教えられました。我々の永遠のテーマなので、プライシングとコストイングを両方やっていきます。いかに高く売れるのか、いかに安い値段で作ることができるのか。これを両面でやっていくということを、経営革新マーケティング委員会でやってくださいと。当然デジタルとかも入ってきます、DXとかも入ってきます。

【教育研修委員会】

この委員会は人づくりです。これからは人の奪い合いになります。人が最高の資源で、どうすれば自社にいい人材が、あるいは自社にいる人材が、どうやったら成長してくれるのか。これを支援するプログラムを作ってくださいというお願いをしています。

【サステナビリティ CSR 委員会】

従来の環境労務委員会で、今回、時代の背景もあり、サステナビリティ CSR 委員会に。CSR が我々の旗印です。やはり正しい会社、いい会社しか残れないので、いい会社になっていきましょう。そして、事業は継続的に続くようなサステナブルな経営をしましょう。環境対策、労務対策もそうですし、人権の問題やBCPです。今回の能登半島地震も何とか支援し合えるのも、全印工連のネットワーク、BCPをやっているからです。

いま東京の大企業は ESG 投資のために、サステナビリティレポートを出さなければなりません、これを作れる会社がありません。ちょっとした団体もみんな CSR レポートとかを出したいのですけど、そこで頼める印刷会社が無い。どこに頼んでもい分不清らないという状況が、いま起こっていますし、これからはまず

まず起こると思います。

環境対策も、カーボンニュートラルへどんどん向かっていき、全国の会社がそれをやらざるを得ない時に、我々が例えば環境対策がうまくいって、そのノウハウを持っていたら、それでコンサルしますよ、お伝えしますよということができるわけです。ですから我々は環境問題、それから ESG、CSR に対して、お客様にアドバイスしてあげるコンサルタントという立場になる可能性がある、パートナーになる可能性がある。SDGs をうまく利用して、新たなビジネスを作っている仲間も実際にいるわけです。ですから、まず自分たちがここで勉強して学ぶ、そして自社を変える。そしてそれを戦略として、営業戦略として打って出るような、そういう事業にしていく。上の2つもそうです。

【組織活性化委員会】

今までは、共済をお願いしますという話をしていました。共済はもちろん大事です。我々の貴重な収益源なので、これは大切でももちろんやりますが、組織を活性化しなくてはいけない。例えば IT 企業とか、クリエイターとか、フォトグラファーかもしれません。あるいは音楽を作る人たちもそうですが、業界には無いんです。だけど情報が欲しい、いろんな人たちと組みたいという声があります。「ぜひ印刷組合に入ってきてください。一緒にやりましょう」ということをこの委員会でやっていって、組合員を増やしていきたい。異業種が入ってくることによって、またいろんな仕事が発生したり、アイデアを教えてもらったり、一緒に組んでいろんな仕事をするができるようになるかと思っていますので、これを各地でやっていただきたいと思っています。実際、もううまくやっている事例も出てきていますので、どうやったらうまくいくのかということもそこで研究、また、調査させていただいて、お伝えするというをやりたいと思います。

なので、これは出ていただいたら必ず自社にとってメリットがある、そして周りの方々にもお伝えすることで周りも良くなる。そういう委員会活動に、どんどん積極的な、攻撃的な委員会活動に変えていきたいと思っています。

【委員会以外の組織】

産業戦略デザイン室は、我々の産業がこれから、5年・10年先の制度設計、産業の戦略を考えると、今回やろうとしているのは AI をどうやって取り込んでいくのか。それから NFT です。これから NFT マーケットが

出てきた時に、我々がいろいろな知財をデジタルで持っているのに、ちゃんとプラットフォームを作っておかないとお金にならない。あるいは、これを作っておくとお金になるので、これができないかという研究してもらいます。

そして、SR 調達です。官公需委員会で、価格で入札するのはいいですが、地方自治法で「安いところから買いなさい」という文言は1つも書いてありません。ただ官僚が、血税だから安く買うのがいいのだと思ってやっているだけで、そんなことをやっても、お金は回らないですから、結局、地域社会は疲弊しますので、もうそういうことはやめましょう。価格もいいけど、価格以外で選んでくださいと。どうやって選ぶのかというとSR 調達で、つまり、その会社がその地域でどんなことをやっているのか、どう貢献しているのかで選んでください。あるいは民間の活力を使って、その地域の課題を解決していく。

これは新しい資本主義で、岸田内閣も言っています。例えば障がい者対策をしっかりしたいという市町村があるとすると、その市町村は障がい者雇用をしている会社に発注すれば、自ずと障がい者対策ができています。障がい者雇用している会社を支援していけば、そこにし出していけば、自ずとその会社の障がい者雇用が推進されて、対策ができてくるということ。こうやってお金の使い方を考えてください。そして課題を解決してくださいというのがSR 調達の考え方です。これを研究してどんどん落とし込んでいこうというのが、産業戦略デザイン室であります。

DX 推進委員会、いま第4次産業革命の中で、先ほどスペインの話をしましたけど、これは避けて通れません。紙は無くならないと思います。無くならないですけど、最初のタッチポイントが必ずデジタルになっていくので、これを我々の、そこを牛耳られてしまうと単なる下請け業者になってしまうので、こんなに面白くないことはないのだからこれをしっかりやって、どんな手があるのかというのを考えていく。もちろんDX-PLAT、それに向けていろんな商材ができて、じゃあ、どこで作ろうかということのDX-PLATということになりますけど、これもやっていきます。

官公需対策委員会、今までは官公需対策協議会でしたが、直轄の委員会に格上げします。各地でお話していると、本当に理不尽な話ばかりです。我々は受注産業なので、どうしても言うことを聞かざるを得ないの



で。例えば「データをよこせ」とか。これは法的に間違っているのに、データをよこせとか、契約書に書いてあるのでよこさなきゃいけない、渡さなきゃいけないとか。あるいは、最低価格制度がないとかいろいろあります。理不尽なことがいっぱいあります。あるいは、自分たちのせいで手間をかせかせておいて、でも工期は譲らないよというような声とかいっぱいあります。これをしっかり対策しよう。もちろんこれは自分たちだけでは駄目なので、全日本印刷産業政治連盟。そのバックには、中小印刷産業政治連盟 130 人の衆参議員の方々がいるので、これを利用して、そういう方法を許さない、理不尽を直させるということをここでやっていく。

特定技能対策室、今は東京でも地域の方々も、もう日本人だけでは回らないという現実です。あるいは、このあいだ聞いた話では、熊本、それから北海道千歳でも半導体工場ができます。すると、海外は賃金がめちゃくちゃ高く、ブラックホールのようにそこに労働者が吸い取られていってしまう。印刷業でなかなか社員が誰も来なくなる。そういう声を聞いています。どんどん人の奪い合いが激しくなるので、やはり外国人雇用というのは必須だなということ。それに向けて特定技能対策室を作っていくこと。

広報戦略室、組合はいろんなことをやっていますが、ここにおられる皆さんはもう重々分かっておられると思いますが、これだけやっても、「いや、全然何もやってくれない。何やっているか分からない」という声が、実際聞こえます。その方々がもちろん情報を取りに来ないというのがありますが、やはり伝え方が悪いのではないかとされます。なので、広報のやり方を変えて、より分かりやすく、伝わりやすい広報戦略を考えようと思います。具体的には『日本の印刷』とかウェブサイトを変えていこう。それから、これは業界内だけではなくて、業界外。例えば次世代の方々、大学とか、若者たち、それから行政、それから金融機関。そういった方々に、我々の業界はこういうように真摯に一生懸命、そして前向きにやっているのですよということをお伝えしていきたい。これだけ進んでいるのですよということを伝えていく広報戦略を原点に、実際にそれを発信していってもらう。

CSR、やはり胆なので、我々は選ばれる会社にならないといけないので、CSRをしっかりとやっていきましょう。そして社会から信頼される産業を担っていきましょうということで、これをやっていく。だからこのCSRも、CSRをやったらお金になるのですかという話になります。お金になります。

東京で、先日、僕も一緒に業務提携している会社に、ホームページでSDGsのページを作りました。そこに突然メールが来て、山形県のJ2のサッカーチームが、「SDGsでいろんなものを作りたいのだけど、お宅できる?」と東京のほうにかかってきました。「できますよ。ただ、山形だから東京から行くわけにもいかないの、

山形県工組さんと一緒にやったらどうですか」ということで、今、動こうかという話になっています。なので、CSRをしっかりとやっておくと、やはりこれは戦略につながっていくということです。これは全部つながっています。なので、そういったことをしっかり全印工連として、各部会、委員会をやって、皆さんがまず学んでいただいたらそれが武器になるような委員会活動、部会活動をしていきたい。

【それをやるにあたって大事な4つのこと】

1つは、地区協のあり方です。集まっていたいて、単なる情報をたくさんもらって帰るのではなくて、情報は共有した上で参加して、実際、「本部はそういうことを、委員会は言っているけど、それでは駄目だよ」とか「もっとこういうことをやって欲しい」とか「これがうまくいかない」とかという話をどんどんフィードバックしていただいて、一緒に考えていく。そういう仕組みになっていきたいなと。課題解決には、それをやってみて、PDCAで回して次、やっぱりこのように変えていこう、次の下期はこれに変えていこうとかということを、どんどん繰り返していきたく思います。

2つ目は、なかなか単工組ではいろんな研修ができにくくなっています。財政の問題、それから組合員数が減っていますので、オンラインを利用して、「ご自由にどうぞ」ということで。今本部のセミナーも無料で提供していますが、そのように今リモートができるので、どんどん県をまたいでいろいろな勉強を一緒にやっていく、情報をお互いに共有していく、そういうことをやりたいと思っています。

3番目は事業推進企画で、「そうは言っても、いろんなことをやりすぎて大変だよ」という声が聞こえます。「こっちでこうやって、こっちも同じことをやっている」と。大体、各委員会の委員長が積極的になると、だん



だんかぶってくるが出てくるので、これはちょっと勿体ない話なのでちょっと整理しましょう。「こういう企画があがったが、それはこっちもやっているから一緒にやりなさい」とか「ここはこっちに任せたほうがいい」とかということ、交通整理をする事業推進企画室を作って、そこでちゃんと分担をして行く。



最後が、各委員会の研究成果を広報誌特集にて発信していきます。今なんか後ろのほうに委員会報告がありますけど、よく分からないという話もあるので、各委員会がこんなことをやっていますというのを、しっかり特集でお伝えする。広報紙、広報活動を変えていこうということをやって、せっかくやっている事業活動と、事業コンテンツを皆さんと有効的に使い合っていく、共有していくということをやっていきたくと思っています。

以上、大体概要としてはこんな話で、これから今各委員長が、そのためには各論をどうしたらいいのかというプログラムを作っています。ぜひ皆さんとやりたいのは、価格競争から価値競争への転換。これをこの数年、まずスタートしていった、これはすぐできる話じゃないかもしれないですが、このままでは絶対我々は誰も勝者がいないような戦いを挑み続けているので、とにかく価値競争にいきましょうと。そういう業界にして、それぞれの会社が良くなる共存共栄の全印工連を作っていきたい。そのきっかけをまずスタートしていきたく、そのように思っています。ですので、一緒に未来を作っていきたいと考えております。

また随時情報を発信しますので、とにかく価格競争から価値競争へと、皆さんの会社がどんどん変わっていきける、そのお手伝いを全印工連がする。もちろん、皆さんが変わる気が無いといけないのですが、それを一緒にやっていきたくと思っていますので、どうぞご協力、また、積極的に参加していただけるようお願いしたいと思います。

長時間ですが、ご清聴ありがとうございました。

印刷・製版・製本機械
各種・関連機械及び材料
各種・省力機械製作
諸機械移設・調整・修理
空気調和・換気設備

専門商社

(KSK) 協和精機株式会社

本社
〒733-0034 広島市西区南観音町15番1号

事務所・工場
〒733-0024 広島市西区福島町2丁目31-13

TEL(082)232-0419(代)
FAX(082)295-6355

環境融合型インキ **インキにもバイオマスを活用**

T&K TOKAでは、印刷会社のニーズに応えるべく、植物由来原料の採用に積極的に取り組み、そして使いやすいインキを開発、各種ご用意しています。

LINE UP T&K TOKAのインキにもバイオマスを活用した製品を取り揃えており、今後ますますの需要が見込まれます。

UV	UV CORE シリーズ	UV	その他 UV バイオマスインキ
<ul style="list-style-type: none"> ・TYPE-A BM (省電力紙用インキ) ・TYPE-C BM (省電力紙器用インキ) ・TYPE-P BM (省電力フレキソ用インキ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・UV FL BM (紙用インキ) ・UV SE BM (ラベル用インキ) ・UV VP BM (フィルム用インキ) ・UV メタリック BM (VOCフリーメタリックインキ) 		

枚葉 **ベストワンシリーズ**

- ・主レイナ (バウダーレスインキ) ・主レイナ アルボ (水なし印刷用バウダーレスインキ)
- ・主レイナ RIC-E100 (VOCフリーバウダーレスインキ)
- ・スーパーテック (片面機用短納期対応インキ) ・パーフェクト (両面機用短納期対応インキ)

T&K TOKA

本社 埼玉県入郡郡三芳町竹園沢2831 〒354-8577 TEL.049-258-1611(代表)
福岡支店 福岡県糟屋郡志免町別府北1-5-26 〒811-2233 TEL.092-611-1136(代表)

https://www.tk-toka.co.jp

【福山支部だより】

2024業態変革 実践!ワイガヤ会

年度も本当に押し詰まった3月27日(水)に福山支部価値組委員会の3月(第240回)例会を開催しました。今回は、広島から中本理事長と宇都宮副理事長にお越し頂きご参加頂きました。

3月例会のタイトルは『2024業態変革 実践!ワイガヤ会』。いろいろ動いて、先ずは動いていこう!という想いを皆で共有できればと始めた年度末の、いわば決起会です。中本理事長から、印刷業界を取り巻く状況、問題、今後の取り組み等を、先ずは全国を俯瞰してのお話、それを県に落とし込んで、どうしていくかとお話を頂きました。我々をとりまく現状をひしひしと実感させられ、参加メンバー各社さんの状況や取り組みなどをお聞きしていくうちに、参加者の皆さんの体温がだんだんと上がっていった。そんな風を感じました。

フリートークになってからも、例会のタイトルどお



りのワイワイガヤガヤ、そしてケンケンガクガクの熱い時間になりました。こんな風に喧々譁々できる仲間がいるって事がありがたいなって思える時間でした。

そして嬉しかったのが「福山(支部)のこの雰囲気がつっても素敵で大好きです」と理事長に言ってもらえたこと。「当たり前」思っていることでも、周りから見ると案外すごいことなのかもしれないけれど、姿勢を正して当たり前のレベルを少しずつ上げていけたらいいなって思った3月例会でした。

最後に中本理事長、宇都宮副理事長、お忙しい年度末に福山までお越しくださいましてありがとうございました。

【厚生労働省よりお知らせ】

2024年4月から労働条件明示のルールが変わりました 労働契約の締結・更新のタイミングの労働条件明示事項が追加される

全ての労働者に対する明示事項

1. 就業場所・業務の変更の範囲の明示

全ての労働契約の締結と有期労働契約の更新のタイミングごとに、「雇い入れ直後」の就業場所・業務の内容に加え、これらの「契約範囲」についても明示が必要になります。

有期契約労働者に対する明示事項

有期契約労働者に対する明示事項

2. 更新上限の明示 【労働基準法施工規則5条の改正】

有期労働契約の締結と契約更新のタイミングごとに、更新上限(有期労働契約の通算契約期間または更新回数の上限)の有無と内容の明示が必要になります。

3. 無期転換申込機会の明示 【労働基準法施工規則5条の改正】

「無期転換申込権」が発生する更新のタイミングごとに、無期転換を申し込むことができる旨(無期転換申込機会)の明示が必要になります。

4. 無期転換後の労働条件の明示 【労働基準法施工規則5条の改正】

「無期転換申込権」が発生する更新のタイミングごとに、無期転換後の労働条件の明示が必要になります。

※詳しくは厚生労働省ホームページで

色彩総合化学メーカー

TOKYO ink

東京インキ株式会社
広島営業所

TEL.082-568-4400

<https://www.tokyoink.co.jp>

〒732-0827 広島市南区稻荷町5-18



DIC
Color & Comfort

変化する市場ニーズを
多彩な技術でナビゲートする

DIC グラフィックス株式会社
ディーアイシー
中国支店

〒738-0021 広島県廿日市市木材港北10-36

TEL:0829-31-2111

<https://www.dic-graphics.co.jp/>

第67回 広島県印刷優勝野球大会 組合せ表

開催日：5月12日・19日(各日曜日) 予備26日(日) ※ 雨天順延
 場所：1日目：八木地区太田川河川敷グラウンド 8時30分より開会式
 // 2日目：草津公園野球場

- *第1日目 予選リーグ リンク戦 第2日目 決勝 トーナメント戦
- *予選リーグは次の順により順位を決定する
 ①勝数 ②得失点差 ③総得点の多いチーム ④総失点の少ないチーム ⑤抽選
- *決勝トーナメントは各グループ上位2チーム合計4チームで行う



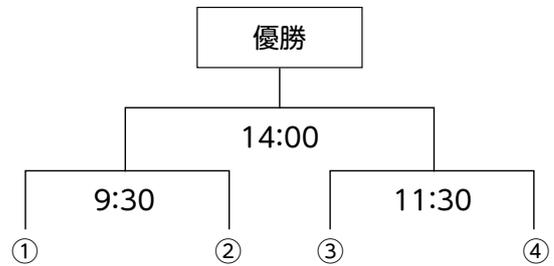
第1日目・予選リーグ



	A 対戦	B 対戦
・第1試合 9:00～10:20	1-2	5-6
・第2試合 10:30～11:50	3-4	7-8
・第3試合 12:30～13:50	1-4	5-8
・第4試合 14:00～15:20	2-3	6-7

- 1 広島洋紙(株)
- 2 中国新聞印刷(株)
- 3 株金陽社
- 4 株中本本店
- 5 株アドプレックス
- 6 瀬戸内海印刷(株)
- 7 イケダ(株)
- 8 株ユニバーサルポスト

決勝トーナメント戦



事務局だより

◎ 組合のうごき

4月	日	内容	会場
	12日	組合会計監査	印刷会館
	19日	JPPS講習会	WEB会議
	24日	夢メッセ三役会、第1回常任理事会 第1回拡大理事会、会館取締役会	印刷会館
	25日	常任役員会・理事・情報	東京
	27日	東西対抗ゴルフ大会	久井カントリー

5月	日	内容	会場
	10日	青年部会総会	印刷会館
	12日	野球大会1日目	八木G
	19日	野球大会2日目	草津G
	21日	広島県印刷工業組合通常総会 広島印刷会館株主総会	広島ガーデンパレス
	27日	常任役員会・通常総会	東京會館
	29日	組織活性化委員会	東京
	30日	経営革新マーケティング委員会	東京

お客様のニーズに適確にお応えします

総合商社

紙のミキ

三木商事株式会社

〒739-0605 広島県大竹市立戸4丁目1-15
電話(0827)53-0005 FAX(0827)53-0006